

摂食嚥下 ワーキンググループ NEWS!

2020年10月号 第57号

発行：摂食嚥下WG

広報・センター祭り部会



摂食・嚥下WGとは？

NST 委員会の下部組織で、当センターの利用者の皆さんが安全に 楽しく 食事ができるよう、個々の利用者さんの摂食能力に合わせた食事形態や食事介助方法の検討など、さまざまな取り組みを行っています。

「摂食・嚥下」とは？

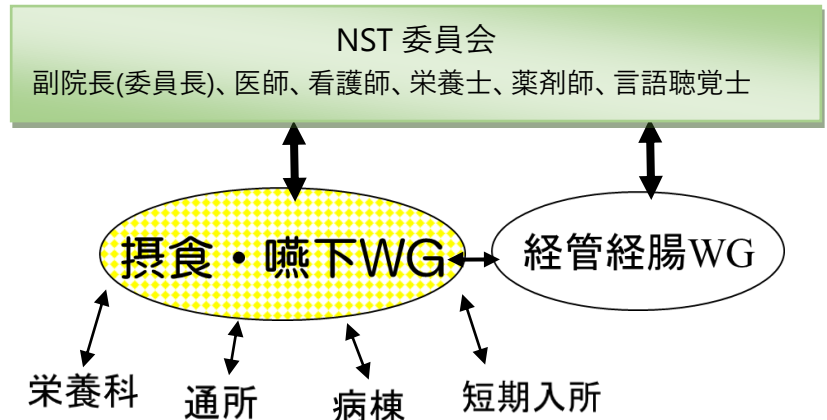
「食べ物を口に入れてから、胃に届くまでの過程」のことです。

摂食・嚥下ワーキンググループについてご紹介します

メンバー

医師 看護師 摂食・嚥下障害看護認定看護師
保育士 管理栄養士 調理師 言語聴覚士 理学療法士
作業療法士 心理士 薬剤師 歯科衛生士 で構成されています。

摂食・嚥下WGでは、会議や回診等で多職種が同時に集まり、各メンバーが専門性を発揮するチームアプローチを行っています。また、各メンバーは病棟と摂食・嚥下WGとをつなぐパイプ役にもなっています。



活動内容

- 定例会議 全メンバーでセンターの食事に関する情報交換や、様々な課題の検討を行います。
- 摂食・嚥下回診 多職種で病棟や通所を巡回し、摂食・嚥下評価とよりよい食べ方のアドバイスをします。
- 部会活動 小グループに分かれて、活動しています。

今年度の各部会の活動予定をお知らせします

食具・食形態部会

- ① センターの食事に関する情報交換を行います。
- ② 「栄養補助食品」リーフレットの完成を目指し取り組みます。
- ③ とろみ剤の使用法及び食具について、病棟や通所での現状や工夫など情報交換し、共有します。

勉強会部会

- ① WGメンバー、センター職員向け勉強会の開催
- ② 利用者家族・一般市民に対して、摂食嚥下についての教育啓発を行う公開講座や体験コーナーなどの開催
今年度は新型コロナの影響により開催が難しいため、WG内で勉強会を行い、職員の皆様に共有していきます。

情報伝達部会

- ① 短期利用者摂食介助マニュアルの普及促進
- ② 回診後の利用者の状況の把握・評価修正
今年度は、試行的に長期利用者の摂食介助シートを作成していきます。

回診フォロー部会

摂食・嚥下回診後、食形態、姿勢、食器具の検討が必要な方に個別に訓練をします。

広報・センター祭り部会

- ① WG ニュースの発行をし、グループの活動をセンター内外にお伝えしていきます。
- ② センター祭りで、WGの活動を紹介します。

お知らせ

10/23(金)・24(土)の府中療育センター祭にて、ブース出展します。
WGの活動の紹介などを実施します。

